

四国女大家政 ○清水 泰代  
戸田 艶子  
四十宮龍徳

1. 接着布に関する基礎的データを得るために実験を行った。

2. 綿ブロード、ベンベルグ羽二重をS社製メラミン硬化型アクリルエマルジョンにて接着し種々の接着剤濃度及び熱処理条件下で処理した接着布について、はくり強度、硬さ、厚さ、収縮等の測定及び接着布の水、石鹼、パークレン処理後のものとの比較等種々検討した。はくり強度は東洋測機テンシロン UM4 型にて、硬さ、厚さ、洗濯等 JIS の方法に準じて行った。接着剤の硬化機構等の検討は島津 IR26 型赤外分光分析器によった。

3. a) 熱処理条件及び接着剤濃度の影響については接着剤濃度及び処理温度の大なる程はくり強度は大であった。しかし処理時間 90 秒以上ではくり強度はほぼ平衡状態になり処理時間の影響は殆ど認められなかった。

b) 水、石鹼、パークレン処理後のはくり強度は 100°C 処理では原布のものと大差はないが処理温度が高い程はくり強度は原布 > 水処理 > 石鹼処理 > パークレン処理の様になった。

c) 種々の条件下で処理した接着布の厚さは接着剤濃度の大なる程減少の傾向にあり、又硬さは硬くなる傾向にあった。又 IR スペクトルによる接着剤の硬化機構及び種々の条件下で処理した時の硬化度等について検討を行った。